

富山県における令和元年度のウイルスおよびリケッチア検出状況

板持 雅恵 稲崎 倫子 嵩田 嵩久 佐賀由美子
長谷川澄代 小渕 正次 大石 和徳

Viruses and Rickettsiae Detected from Specimens of Patients in Toyama Prefecture in the Fiscal Year 2019

Masae ITAMOCHI, Noriko INASAKI, Takahisa SHIMADA, Yumiko SAGA,
Sumiyo HASEGAWA, Masatsugu OBUCHI, and Kazunori OISHI

目的：富山県衛生研究所ウイルス部では、感染症発生動向調査や行政依頼検査、一般依頼検査など、種々の目的によって検査を行っている。ここでは、令和元年度に検出されたウイルスおよびリケッチアの検査の概要を報告する。

方法：検査は、検体の種類や状態に応じて、常法に従い実施した。

平成31年4月から令和2年3月までに受け付けた被検者は延べ571例、検体別では糞便（直腸拭い液を含む）193、咽頭または鼻腔拭い液360、喀痰または気管吸引液40、髄液21、尿64、血液（全血、血漿、血清、末梢血単核球、パフィーコートなど）157、痂皮5、皮膚病巣1、糞便由来cDNA26の計867件であった。

結果および考察：被検者575例中304例からウイルスあるいはリケッチアが検出された。以上の成績を臨床診断名別、患者別に表1に示し、若干の解説を加えた。

インフルエンザおよびインフルエンザ様疾患：県内の医療機関を受診した患者119症例（咽頭または鼻腔拭い液120、血清1、髄液1）について検査を行った。

昨シーズン（2018/2019年）終期の4月に2症例からAH1型インフルエンザウイルスが、4症例からAH3型インフルエンザウイルスが、5症例からB型インフルエンザウイルスがそれぞれ検出された。非流行期の5～10月に11症例からAH1型インフルエンザウイルスが、7症例からB型インフルエンザウイルスがそれぞれ検出された。2019/2020年シーズンでは、11～3月に72症例からAH1型インフルエンザウイルスが、9症例からB型インフルエンザウイルスがそれぞれ検出

された。

インフルエンザウイルス以外では、4月に1症例からアデノウイルスが検出された。また、ライノウイルスとパラインフルエンザ3型との同時検出例が7月に1症例みられた。

上気道炎・下気道炎：4～6月、8月、11月に計20症例（咽頭または鼻腔拭い液17、喀痰2、血清1）について検査を行ったところ、1症例からB型インフルエンザウイルスが、3症例からライノウイルスが、ボカウイルスが2症例から、パラインフルエンザウイルス3型が3症例からそれぞれ検出された。また、ライノウイルスとボカウイルスとの同時検出例が2症例、ライノウイルスとB型インフルエンザウイルスとの同時検出例が1症例みられた。

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）：1～3月に計113症例（咽頭または鼻腔拭い液109、喀痰35、血清2）の検査を行ったところ、5症例から新型コロナウイルスが検出された。

脳炎・脳症：計18症例（髄液11、血清13、糞便7、咽頭または鼻腔拭い液17、喀痰1、尿8）の検査を行ったところ、5症例の鼻腔拭い液または喀痰からAH1型インフルエンザウイルスが、2症例の血清からヒトヘルペスウイルス6型が、1症例の咽頭拭い液からライノウイルスがそれぞれ検出された。

無菌性髄膜炎：4症例（髄液4、血清3、糞便1、咽頭拭い液3、尿1）の検査を行ったところ、1症例の髄液から水痘・帯状疱疹ウイルスが、1症例の髄液からヒトヘルペスウイルス6型がそれぞれ検出された。また、咽頭拭い液からライノウイルスが、髄液からムンプスウイルス（ワクチン株）が同時に検出された症例が1例みられた。

急性弛緩性麻痺：2症例（髄液2、血清2、糞

表 1. 令和元年度 疾患別、月別ウイルスおよびリケッチア検出状況

臨床診断名	検出病原体	令和元年度												合計
		平成31年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	令和2年 1月	2月	3月	
インフルエンザ・ インフルエンザ様疾患	(被検者数)	13	6	2	3	1	3	5	13	29	31	11	2	119
	AH1型インフルエンザ	2		1	1	1	3	5	12	28	27	5		85
	AH3型インフルエンザ	4												4
	B型インフルエンザ	5	6	1						1		6	2	21
	ライノ+パラインフルエンザ3型				1									1
	アデノ	1												1
上気道炎・下気道炎	(被検者数)	5	2	8		4			1					20
	B型インフルエンザ	1												1
	ライノ	1		2										3
	ライノ+ボカ	1		1										2
	ボカ		2											2
	パラインフルエンザ3型			3										3
	ライノ+B型インフルエンザ			1										1
新型コロナウイルス 感染症 (COVID-19)	(被検者数)										2	22	89	113
	新型コロナ												5	5
脳炎・脳症	(被検者数)	2	1	1	3		1	1	2	3	3		1	18
	AH1型インフルエンザ									3	2			5
	HHV-6				1				1					2
	ライノ				1									1
無菌性髄膜炎	(被検者数)		1	1						2				4
	水痘・帯状疱疹		1											1
	ライノ+ムンプス(ワクチン株)			1										1
	HHV-6									1				1
急性弛緩性麻痺	(被検者数)				1	1								2
	ライノ				1									1
感染性胃腸炎(集団)	(被検者数)	6	11	5	4	7		7	4	15	62	10		131
	ノロGII ^a	6	10	5		3				10	52			86
感染性胃腸炎(散発)	(被検者数)	4	4	9	8	2	4	3	3	3	3	3		46
	ロタA群			6	4							1		11
	ノロGII	1		2						2	2	1		8
	サボ		1						1	1				3
	アデノ41型						1							1
	アストロ				1									1
麻疹	(被検者数)	11	5	1	1	1	1	1	2	3		2		28
	麻疹(型別不明)								1					1
	パレコ3型			1										1
風疹	(被検者数)	3	1	1	3	2	1	1	1	2				15
	風疹(1E型)				1									1
手足口病	(被検者数)				16	1	1							18
	コクサッキーA6				11									11
	コクサッキーA6+ライノ				1									1
	ライノ				2									2
	アデノ2型				1									1
つつが虫病	(被検者数)			3		1			3			1		8
(SFTS ^b 、日本紅斑熱 ^c を含む)	つつが虫病リケッチア			1					1					2
デング熱	(被検者数)					1		1	1					3
(ジカ熱 ^c 等を含む)	デング2型				1									1
A型肝炎	(被検者数)						1				1		4	6
	A型肝炎						1				1		4	6
E型肝炎	(被検者数)	1		1		1	1	1	3			1	1	10
	E型肝炎	1				1	1	1				1		5
発疹症	(被検者数)	1	2	4	7	1			1	1				17
	パレコ3型		2	3	6	1								12
	ライノ				1									1
筋炎、筋痛症	(被検者数)			3	5	1		1						10
	パレコ3型			3	4	1								8
その他 ^c	(被検者数)	3	1				2			1				7
														0
症例合計	(被検者数)	49	34	39	51	24	15	21	34	59	102	50	97	575
	病原体検出者数	23	22	31	37	8	6	6	16	46	84	14	11	304
食品	(検体数)										6		1	7
	ノロGII										1			1
	A型肝炎												0	0

■、灰色の影で記した数は、無症状の施設関係者及び接触者を含む。

a. ノロGII: ノロウイルスGenogroup II

b. SFTS: 重症熱性血小板減少症候群

c. その他: 4月の1症例はサイトメガロウイルス感染症、4月の2症例は血便、5月と9月の計2症例は、出血性膀胱炎、9月、12月の計2症例は、心筋炎

便2, 咽頭拭い液2, 尿1) の検査を行ったが, ポリオウイルスを含むエンテロウイルスは検出されなかった。その他のウイルスでは, ライノウイルスが1症例の糞便と咽頭拭い液から同時に検出された。

感染性胃腸炎: 集団発生事例では, 食中毒および有症苦情事例を含む17事例(131症例, 糞便105, 糞便由来cDNA26)について検査を行ったところ, 11事例の86症例からノロウイルスGIIが検出された。一方, 無症状の施設関係者からノロウイルスが検出された事例も4事例みられた。集団発生事例は, 月別では, 4月に1事例, 5月に1事例, 6月に1事例, 7月に1事例, 8月に3事例, 10月に1事例, 11月に1事例, 12月に2事例, 1月に5事例, 2月に1事例それぞれ発生した。また, 食中毒事例に関連して, 1事例における食品6件の検査を行ったところ, 1件(漬物)からノロウイルスGIIが検出された。

小児科医療機関からは, 計46症例(糞便45, 咽頭拭い液1)の散発例の検査依頼があった。このうち24症例がウイルス検査陽性となった。11症例からロタウイルスA群が, 8症例からノロウイルスGIIが, 3症例からサポウイルスが, 1症例からアデノウイルス41型が, 1症例からアストロウイルスがそれぞれ検出された。

麻疹: 麻疹疑い例として検査依頼を受けた28症例(咽頭拭い液28, 血漿または血清28, 末梢血単核球26, 尿25)の検査を行ったところ, 11月に1症例の末梢血単核球から麻疹ウイルス(遺伝子型別不明)が検出された。麻疹ウイルスが検出されたのは, 30歳代の男性であり, 発症10日前までタイへの渡航歴があった。その他のウイルスでは, 6月に1症例の咽頭拭い液と血清からパレコウイルスが検出された。

風疹: 15症例(咽頭拭い液15, 血漿または血清15, 末梢血単核球15, 尿15)の検査を行ったところ, 1症例の咽頭拭い液および血清から風疹ウイルスが検出された。風疹ウイルスの遺伝子型は1Eであった。

手足口病: 7~9月に計18症例(咽頭拭い液18)の検査を行ったところ, 12症例からコクサッキーウイルスA6型が検出された。うち1症例ではコクサッキーウイルスA6型とライノウイルス

が同時に検出された。

つつが虫病(重症熱性血小板減少症候群(SFTS), 日本紅斑熱疑い含む): 計8症例(血漿または血清1, バフィーコート8, 痂皮5)の検査を行ったところ, 2症例の血液または痂皮からつつが虫病リケッチアが検出された。つつが虫病リケッチアの血清型は, 6月の1症例はShimokoshi型, 11月の1症例はKawasaki型であった。

デング熱(ジカ熱疑い等含む): 8~11月に計3症例(血漿3, 末梢血単核球3, 尿3, 咽頭拭い液1)の検査を行ったところ, 1症例からデングウイルス2型が検出された。モルジブへの渡航歴があり, 帰国後数日以内の発症であった。

A型肝炎: 9月, 1月, 3月に計6症例(糞便6)の検査を行ったところ, 6症例からA型肝炎ウイルスが検出された。また, 3月の症例に関連して食品1件の検査を行ったが, A型肝炎ウイルスは検出されなかった。

E型肝炎: 計10症例(血清10, 糞便2)の検査を行ったところ, 5症例からE型肝炎ウイルスが検出された。

発疹症: 計17症例(糞便16, 咽頭拭い液18, 気管吸引液1, 血清, 髄液3, 尿7)の検査を行ったところ, 5~8月の12症例からパレコウイルス3型が検出された。7月の1症例からはライノウイルスが検出された。

筋炎, 筋痛症: 計10症例(便7, 咽頭拭い液7, 血清7, 髄液1)の検査を行ったところ, 6~8月の8症例からパレコウイルス3型が検出された。

その他: 4月にサイトメガロウイルス感染症疑い1症例(咽頭拭い液1, 血清1, 尿1), 4月に血便2症例(咽頭拭い液2), 5月および9月に出血性膀胱炎2症例(便1, 咽頭拭い液1, 血清, 尿2)の検査を行ったが, ウイルスは検出されなかった。

謝辞: ウイルス検査は結果が判明するまでに時間がかかるが, 今後の感染症の発生動向を知るうえで貴重な資料となる。ご多忙の中でご理解, ご協力をいただいた多くの医療機関および防疫機関の関係各位に深くお礼申し上げます。